

「下水道について調べてみた」

国富小 三年 中尾 望海

ぼくは、はじめ、「下水道は、きいた事はあるけれどどんな役割をしているのかなあ。」と思いました。

そこで、この夏休み、下水道がどんな役割をしているのかを調べてみました。

下水道は、各家庭や、学校、工場などで使われた水が、下水となって流れ込む下水管とポンプ場、処理場から構成されています。

ぼくたちがくらしている道路の下には、とつともなく長い下水管があると知って、おどろきました。

下水道には、合流式下水道と分流式下水道があるそうです。

家庭から出る下水には、トイレの洗浄水などの汚水と雨どいなどで集められた雨水とがあります。

この汚水と雨水を一本の管で集めるものが合流式下水道、別々の管で集めるものが分流式

下水道というそうで、現在では、分流式下水道が一般でできます。

汚水と雨水をいっしょにしないようにして処理しなくていいようにしていると分かりました。

下水管を通った汚水は、きれいさうてきに処理場に行きます。

処理場では、微生物を使った下水処理を行います。さらに塩素などで消毒してから放流されています。

処理が適切に行われていることをかくにするため、ていきてきに水しつけどさが行われているそうです。

下水処理場により発生する汚泥も水分を減らしたり、焼却したりして適切に処理されるそうです。

処理場にも水をきれいにするだけではなく工夫があるんだなああと、思いました。

下水道がないと、川や海がよごれてしまうので大事なものと分かりました。

また、その下水管をうめた人は、大へんだ、
ただろうなあと思いましたが、

きれいな水を守ってくださってありがとうございます。
ございます。

水をよごさないようにしながら、
いけいなゴミを捨てました。

15

10

5

10

15